

カキ生育情報

千葉県

平成25年11月号

平成25年10月の気象

平成25年10月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は、第1～第3及び第5半旬で平年を1.2℃～4.7℃上回った。月平均気温は19.0℃で、平年より1.1℃、前年より0.7℃高かった。

降水量は、第3、第4及び第6半旬で平年を上回り、月合計は455mmで、平年の180%、前年の151%であった。

日照時間は、第1、第4及び第5半旬で平年を下回り、月合計は130時間で、平年の95%、前年の79%であった。

本年は、現在までに3個の台風が日本列島に上陸した。最近では、10月16日に台風16号が房総沖を通過し、24時間降水量は322mmで10月の観測史上最も多く、最大瞬間風速は38.5m(館山測候所)を記録した。

表1 平成25年10月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22.0	20.5	22.2	27	43	56	10	20	31
2	23.4	18.7	18.9	2	75	11	36	20	22
3	20.5	18.7	18.7	131	31	8	34	21	23
4	16.9	17.7	17.7	215	38	70	15	22	27
5	17.7	16.5	17.4	20	29	82	3	24	30
6	15.1	16.0	15.4	62	37	75	33	29	33
平均/計	19.0	17.9	18.3	455	253	301	130	137	165

果実の発育

10月30日現在のカキの果径は表2に示した。横径は、「松本早生富有」が8.03cm、「富有」が7.71cmであった。本年の横径は、2品種ともに平年よりそれぞれ3%及び6%、前年よりそれぞれ4%及び1%小さかった。

縦径は、「松本早生富有」が5.72cm、「富有」が5.67cmであった。本年の縦径は、2品種ともに平年よりそれぞれ3%及び8%小さかったが、前年よりそれぞれ2%及び1%大き

かった。

果形指数は、「松本早生富有」が1.40、「富有」が1.36であった。本年の果形指数は、「富有」が平年より高く、横長の傾向であった。

暖地園芸研究所の収穫始めは、「松本早生富有」が10月7日で、平年より6日、前年より2日早く、「富有」は10月15日で、平年より11日、前年と同じであった。

病害虫は、炭疽病の発生が多いことから、樹上軟化する果実も多くなっていた。カメムシ類による吸汁害もみられた。

表2 果実の生育（10月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
松本早生富有	暖地園研	8.03	8.27	8.40	5.72	5.88	5.63	1.40	1.41	1.49
富 有	暖地園研	7.71	8.19	7.81	5.67	6.13	5.59	1.36	1.34	1.40

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2012年の平均

11～12月の作業

施 肥

基肥の施用時期である。土壌中での肥料の分解や浸透を促すため、地温があまり下がらない年内に行う。「西村早生」では11月下旬～12月上旬に、「松本早生富有」、「富有」では12月上旬までに行いたい。肥料の効果が生育期に安定して現れるよう、有機質肥料や有機配合などを主体に、全量を全面散布する。施用量は、年間施用量の70%程度とする。基肥の10a当たり標準施用量は、成分量で窒素、りん酸、加里とも「西村早生」では各10kg、「松本早生富有」、「富有」では各12kgを目安とするが、肥沃地や樹勢の強い園ではこれより控える。

病害虫防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、幼虫を捕殺するため、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。また、落葉病やうどんこ病の伝染源を除去するため、落葉は集めて園外へ持ち出すなどして処分する。害虫の発生が少ない園では、12月以降(休眠期)でよい。これらの防除は、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に基づいて行う。

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>